



The Global Language of Business

2024年度 流通BMS協議会の主な活動

— 未対応業務（値引き等）への対応等 —

流通システム標準普及推進協議会

2024.10.25

<主な・・・本日のアジェンダ>

➤ 流通BMS協議会の活動報告

- ✓ 未標準化業務への対応
- ✓ 卸-メーカー間の次世代EDI検討支援

➤ 新規調査検討案件（事務局）

- ✓ 次世代通信手順への対応

☆お知らせ <導入支援セミナー【11/26（火）】>

2024年度 総会資料から抜粋「1.全体概要」

◇ 15年度目の振り返り

- ◆ 協議会設立後15年度目となった。
- ◆ 「適格請求書等保存方式（インボイス制度）に関する財務省及び国税庁から発せられる新規情報の収集と情報の周知
- ◆ 活動をオンラインにシフトし、リアル開催におけるメリット実現を模索
→講座はリアル開催は廃止、e-learningに移行
- ◆ 流通BMSとして未対応業務（値引等）標準化の検討を開始
- ◆ 導入支援セミナー開催を延期（2024年度夏頃開催で調整）
→リアル開催でのみ得られる「相談コーナー設置」を継続予定
- ◆ 積極的な導入支援活動の実施は困難であった
- ◆ 普及動向の把握と公表と各種情報発信を継続的に実施
→2年に1度行っていた「導入実態調査」は中止

2024年度の活動

標準の維持管理活動

- (1) メッセージメンテナンス部会
- (2) 技術仕様検討部会

標準の導入支援活動

- (1) 導入支援部会 (旧 普及推進部会)
- (2) 導入支援セミナーの開催
- (3) 正会員団体との連携支援
 - ✓ 小売業の取引先説明会への講師派遣 など
- (4) 流通BMSロゴマークの使用許諾
- (5) リテールテックジャパン等の展示会出展
- (6) 未対応企業等への導入支援

標準の普及推進活動

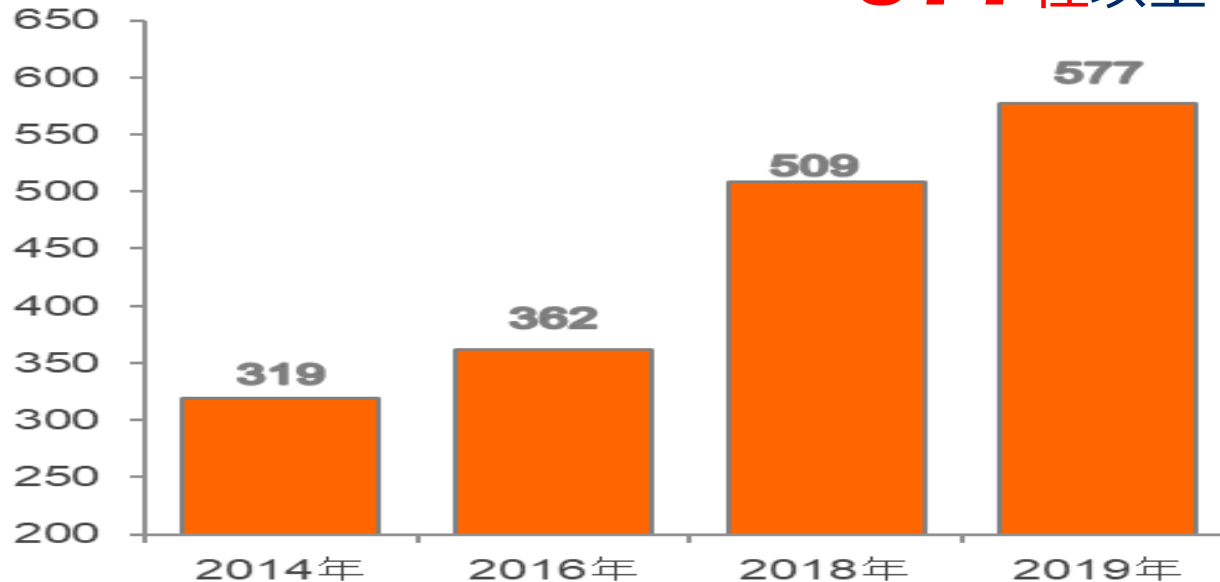
- (1) 入門／導入講座の開催
- (2) 導入状況の把握と開示
- (3) 広報活動
 - ✓ 製品・サービスの紹介、動画／リーフレット作成 など
- (4) 相談窓口の設置 など

…2019年度時点の普及状況【小売】

小売の導入企業数推計

協議会HP「導入企業名の公開」では、2024.10現在
小売228社、卸・メーカー227社の社名を公開

577社以上※



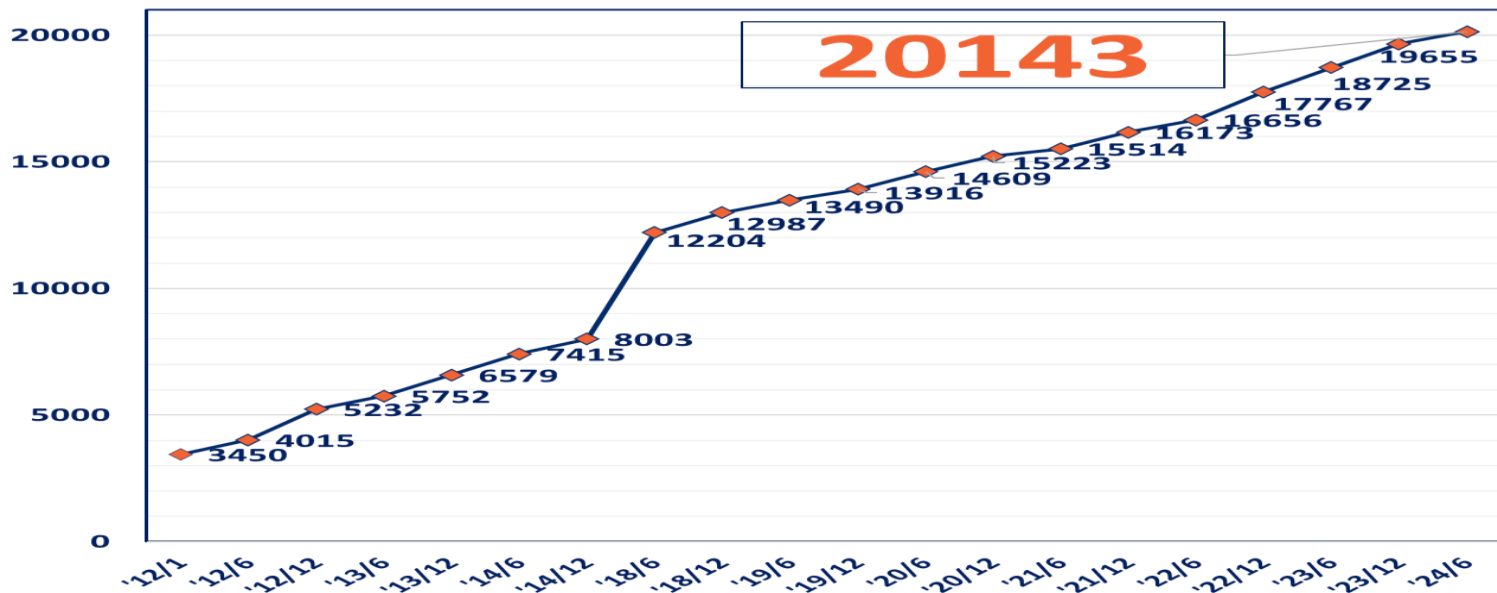
※グロサリ卸で組織された情報志向型卸売業研究委員会（略称：卸研）にて、2019年度に実施した調査『小売の業態別企業規模別普及状況』より

2024年6月時点の普及状況【卸メーカー】

卸・メーカー導入企業数推計

◆ 第26回調査結果を2024年6月に公開（半年ごと実施）

- 2024/6/1時点の調査結果では、20,100社以上となり、前回調査時（2023年12月）から、約500社増加。



標準維持管理業務推進・・・

◆ 標準化未対応業務は？

各種相殺項目の
取引明細は？

値引処理の
定義などは？

物流関連の項目
足りている？

リアルタイム処理
の技術は？

※未対応業務（値引等）検討WGの資料から抜粋

標準未対応業務（値引）の現状？

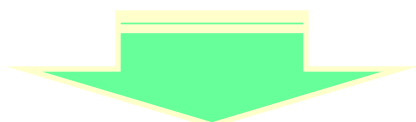
◆未定義の値引が、あたかも標準のように！

・SMを中心に値引等の処理などを、
返品伝票などの「処理種別」を「値引」として運用されている。



・流通BMSの返品メッセージで、
データ項目「処理種別」を「値引」として運用しようとしている。

標準外



**値引など（割戻し／リベート）に関して調査を行い、
標準メッセージ化に関して検討する！**

※未対応業務（値引等）検討WGの資料から抜粋

メッセージメンテナンス部会等の主な活動

流通BMS未対応業務への標準仕様拡張及び、卸メーカー間（加工食品）の次世代EDI検討（流通BMS化）の支援を重点的な活動と位置付け、正会員団体と密に連携していく。

- 未対応業務（値引等）の標準化検討活動

- メッセージメンテナンス部会の配下に「未対応業務（値引等）標準化検討WG」を設置
- 正会員からWG委員を募る
- 値引（返還インボイス）と相殺明細（リベートを含む）の標準メッセージ策定に関して検討を行い、整理した内容を基にメッセージメンテナンス部会にCR申請を行う。

- 卸メーカー間（加工食品）の次世代EDI検討の支援活動

- 正会員団体の（一社）日本加工食品卸協会の検討活動を支援する 他

※個別調査まとめ・・・【値引】

◆「値引」を定義することで電子化が進む

- ◆ 請求／支払メッセージで「支払内容：1004 値引」が定義されているが、現状その取引内容（値引）を表現するメッセージがない！
 - ✓ 「返品」は、「支払内容：1002 返品」に対し「返品メッセージ」が定義されている。
- ◆ 未定義の「値引」処理の取引内容を定義することで、請求／支払メッセージと連携が容易となる！
 - ✓ 日々の処理と締め処理を電子的に行える！

※未対応業務（値引等）検討WGの資料から抜粋

※個別調査まとめ・・・【値引】

◆「返品」利用の個別処理削減

- ◆ 「返品メッセージ」の処理識別を<値引>とした運用をされた場合、商品が返却されないので、販売管理としての処理で考慮しなければならない！
 - ✓ <処理種別>を意識した処理をシステムに組み込む？
 - ✓ 事前連絡等で、対象となる「返品メッセージ」を除外して処理する？
 - 個別対応が発生し、非効率である。

◇ 2024年度検討WGの方針

◆ 調査結果を踏まえて

- ◆ 「値引」メッセージを2024年度内に策定する。
- ◆ 「相殺明細（リベートを含む）」メッセージ策定は2024年度実施しない。
 - 「相殺明細」と「リベート」を一つで表現することは、業務運用（利用）上タイミングが異なるため困難である。
 - 「相殺明細」に関しては、今後の効率化／高度化のため、何らかの標準策定が必要と考える

※未対応業務（値引等）検討WGの資料から抜粋

◇標準仕様策定の要素

◆標準仕様に必要な資料

◆「値引」の定義

- 流通BMS内での言葉の定義を明確に！

◆「値引」メッセージの使用イメージの提示

- 業務運用のどのような場面で使用するかを明確に！

◆「値引」メッセージのデータ項目整理

- 「返品」メッセージをベースに整理

◆ 利用方法／注意事項必要事項のガイドライン化

CR作成方針（案）

◆新規に「値引メッセージ」の標準仕様を策定する

➤ 返品メッセージを基に「値引メッセージ」を策定する

- ✓ 物流関連データ項目の削除
- ✓ 値引処理に必要なデータ項目を追加 他

➤ 「運用ガイドライン その他メッセージ編」にて、各種定義や利用方法を記載する。

- ✓ 策定の目的
- ✓ 言葉の定義（この部分は基本編に入れる？）
- ✓ 利用プロセスイメージ
- ✓ 主なデータ項目の使用法 他

◆言葉の整理 (ヒアリング結果を踏まえ)

現時点の案

◆値引

◆返還インボイス対象の取引

➤ 取引に対する対価の返還を行う

相対企業間の取り交わし（事前の契約）で、一定以上の売り上げ実績があった相手先に対して、事前に取り決めた額や率により、売上代金の減額や返金を行う

相対企業間の合意により、商品の取引額を減額する
商品の品質等の理由、？原価金額の記載ミス など

譲渡年月（元納品日）に相当する記載が必要

◇言葉の整理 (ヒアリング結果を踏まえ)

現時点の案

◆役務提供 (リベート等を含む)

◆ 役務の提供等として、買い手側の売上取引

- 相対企業間の取り交わしで、一定以上の売り上げ実績があった相手先に対して、事前に取り決めた額や率により、**買い手側の役務等の対価として売り手側が支払う**
 - 販売奨励金 など
- **買い手側が提供するサービス等の対価**
 - 物流フィー、EDI処理料など (取引明細を含む)

2. 対象業務プロセス

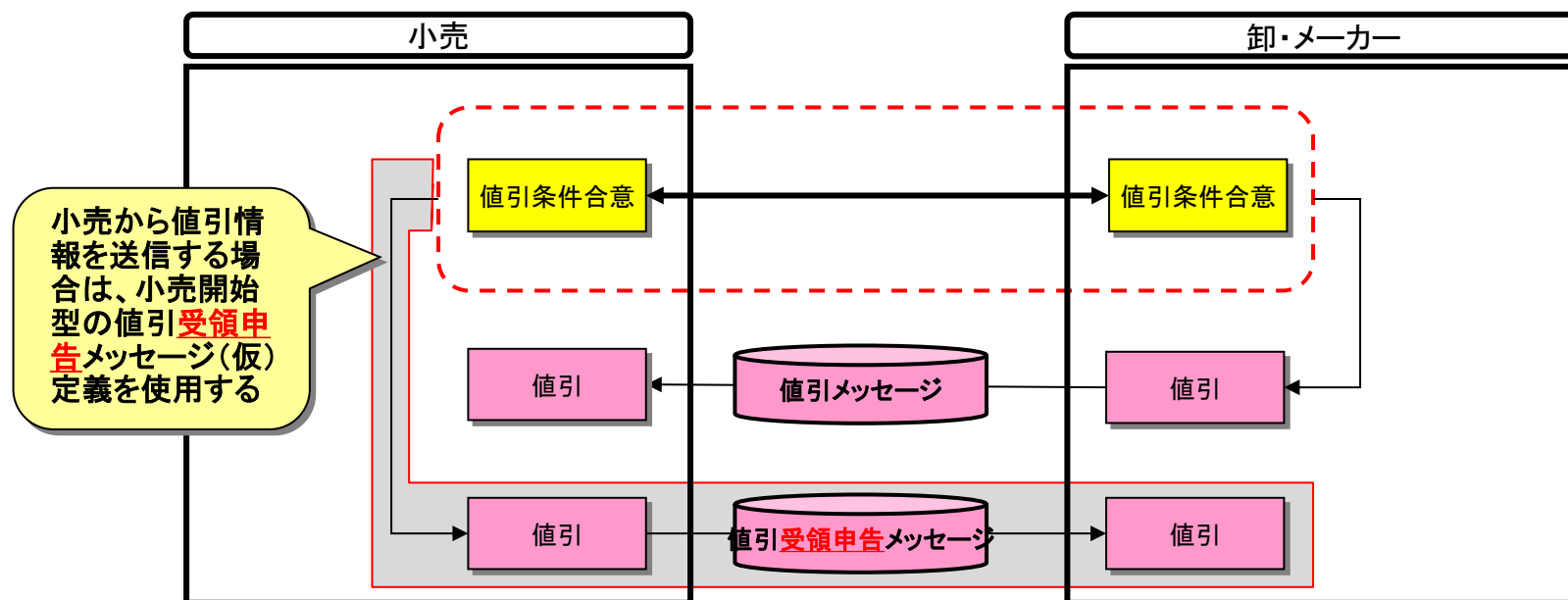
(X) 値引について

本モデルでは、事前契約または覚書等にて返還インボイス対象であることを相対企業で取り交わしたうえで「値引メッセージ」を使用するものとする。

ただし、値引業務のバリエーションとして、小売側からの値引受領申告メッセージ(仮)定義で運用を行えるものとする。

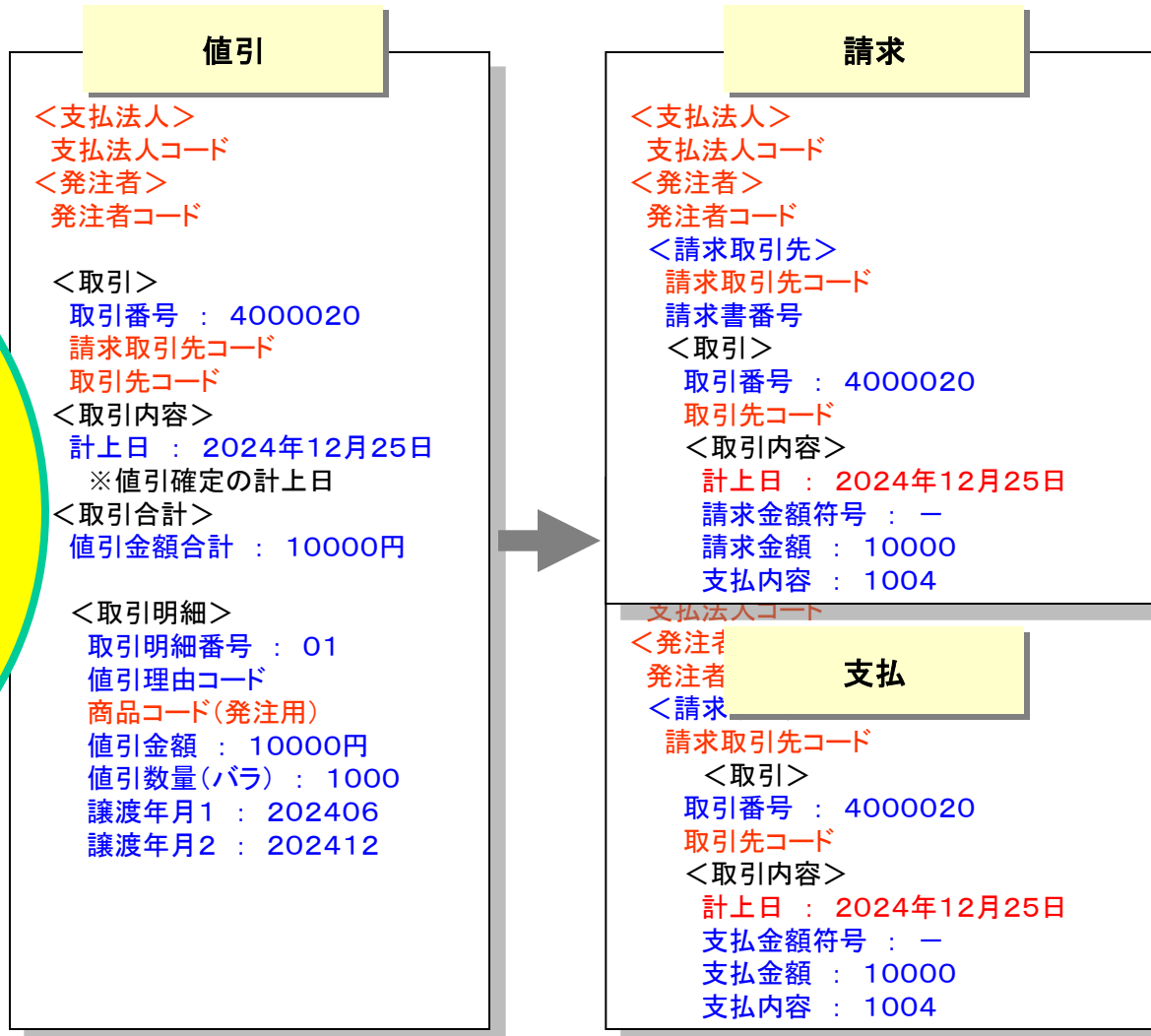
ガイドラインへの記載イメージ

■ 値引業務プロセス・イメージ



X. 一定期間の取引を対象とした値引メッセージ項目の引継ぎ

値引および発注・出荷・受領メッセージで記載した項目の請求／支払メッセージでの引継ぎについて、一部例を示す。
赤字の部分については、前のメッセージでセットされた値が後のメッセージに引き継がれる。



■ 赤字は、引継項目 ■ 青字は基本的には新規記載項目 ■ 灰色の字は引き継がない項目

X. 1取引と対となった値引メッセージ項目の引継ぎ

発注・出荷・受領メッセージで記載した項目の値引及び請求／支払メッセージでの引継ぎについて、一部例を示す。
赤字の部分については、前のメッセージでセットされた値が後のメッセージに引き継がれる。

**ガイドラインへの
記載イメージ**

<支払法人>
支払法人コード
<発注者>
発注者コード

<取引>
取引番号 : 1000001
請求取引先コード
取引先コード
<取引内容>
発注日 : 2024年12月20日
計上日 : 2024年12月22日(予定日)
<取引合計>
原価金額合計 : 6,000円
数量合計 : 7

<取引明細>
取引明細番号 : 01
商品コード(発注用)
原価金額 : 500円
発注数量(バラ) : 2
<取引明細>
取引明細番号 : 02
商品コード(発注用)
原価金額 : 1,000円
発注数量(バラ) : 4
<取引明細>
.....

値引
<支払法人>
支払法人コード
<発注者>
発注者コード

<取引>
取引番号 : 4000001
請求取引先コード
取引先コード
<取引内容>
発注日 : 2024年12月20日
計上日 : 2024年12月25日
※値引確定の計上日
<取引合計>
値引金額合計 : 200円

<取引明細>
取引明細番号 : 01
元取引番号 : 1000001
元取引明細番号 : 02
値引理由コード
商品コード(発注用)
値引金額 : 100円
値引数量(バラ) : 2
譲渡年月1 : 202412

請求
<支払法人>
支払法人コード
<発注者>
発注者コード
<請求取引先>
請求取引先コード
請求書番号
<取引>
取引番号 : 4000001
取引先コード
<取引内容>
計上日 : 2024年12月25日
請求金額符号 : -
請求金額 : 200
支払内容 : 1004

支払
支払法人コード
<発注者>
発注者
<請求>
請求取引先コード
<取引>
取引番号 : 4000001
取引先コード
<取引内容>
計上日 : 2024年12月25日
支払金額符号 : -
支払金額 : 200
支払内容 : 1004

■ 赤字は、引継項目 ■ 青字は基本的には新規記載項目 ■ 灰色の字は引き継がない項目

既存ガイドライン「基本編」の追加／修正箇所

- ◆ 「運用ガイドライン 基本編」の追加／修正
 - ✓ P.80 「値引」の文言
「仕入・返品・委託等の」
→ 「仕入・返品・値引・委託等の」
 - ✓ P.81 「値引明細」の例示
 - ✓ P.124～129
「支払内容：1004」の例示
 - ? データ項目説明内の不要な「値引」を削除！（処理種別：値引）

卸-メーカー間 次世代EDI策定！

◆次世代EDIの検討

次世代標準EDI検討専門部会@日食協
【2023.05 卸・メーカー間次世代標準EDI検討報告書 公開】

DPC (Data Platform Construction) 協議会

◆加工食品サプライチェーンのデータプラットフォーム構築の基本計画を検討・策定する

- SBM※ (代表：味の素)
- 日本加工食品卸協会
- ファイネット
- 流通経済研究所
- (オブザーバー) プラネット
- (オブザーバー) GS1 JP

事業所マスターチーム

次世代EDI検討チーム

GS1標準活用+
Scope3 CO2算定チーム

※SBM会議（食品物流みらい推進会議）：F-LINE参加企業6社+キッコーマン、キューピーの8社

標準維持管理業務推進・・・

※スライド6を再度掲載

◆標準化未対応業務は？

各種相殺項目の
取引明細は？

値引処理の
定義などは？

物流関連の項目
足りている？

リアルタイム処理
の技術は？

時代に則したIT技術の採用等
の調査／検討を開始

☆お知らせ！ 11/26開催 導入支援セミナー

◆ セミナータイトル

「流通BMSセミナー2024 情報連携で繋がる世界 ～共に築く未来の課題と解決策～」

◆ 開催日程・場所

- 日時：2024年11月26日（火）14:00～17:00（受付開始13:30～ セミナー開始14:00～）
- 場所：明治記念館 末広の間 【ハイブリット開催】 会場：70名 オンライン：100名

プログラム	タイトル	講演団体・企業	講師
14:00-14:20	「IP網移行の最新動向（仮）」	インターネットEDI普及推進協議会	会長 藤野 裕司様
14:20-14:50	「流通BMS 標準導入のメリット」	国分グループ本社（株）情報システム部物流システム二課	主席 グループ長 平田 幸則様
15:00-15:15	「流通BMS協議会の主な活動 ～未対応業務（値引き等）CR～」	流通BMS協議会	事務局長 坂本 真人
15:30-16:30	新企画 ITベンダー座談会「企業間取引のデジタル化についてEDIサービスの今後の方向性」	(株) インターコム 営業本部 部長代理 兼 プロダクト営業部 B2Eセールスグループ グループ長 嶋田 健吾様 (株) インテック 情報流通プラットフォームサービス事業本部 営業部 グループマネージャ 竹内 正人様 SCSK (株) 産業事業グループ 産業ソリューション事業本部 産業ソリューション第四部 部長 篠原 豊様 (株) サイバーリンクス SCM事業部 SCM営業部 部長 清原 智様 (株) データ・アプリケーション マーケティング本部長 赤須 通隆様 富士通Japan (株) EDIソリューション事業部 シニアディレクター 村田 高志様	



導入支援へのご協力をお願いします！

◆流通BMS未導入企業への働きかけ

□ インボイス制度への対応等を含め、流通BMS導入を促進するために、未導入の小売企業へPR

- ✓ 正会員団体の説明会や勉強会での説明など
- ✓ 卸売業様及びITベンダー様の協力の基、個別に小売業様を訪問し、現状の課題等をヒアリングすると共に、流通BMS導入の働きかけをおこなう

★是非とも、積極的にお声がけください！

**流通BMSに関する各種問い合わせは
E-mail : ryutsu-bms@gs1jp.org へ**

**流通BMSの維持管理等の業務に対し
ご指導・ご協力、宜しくお願い致します。**

<https://www.gs1jp.org/ryutsu-bms/>

